

令和5年度第2回大阪府立青少年海洋センター指定管理者評価委員会 議事概要

- 1 開催日時 令和6年2月27日(火) 15:00~16:20
- 2 開催方法 オンライン会議システムによる開催
(傍聴会場 大阪府庁・別館6階 子ども家庭局 会議室)
- 3 出席者 評価委員会：横山委員長、岡田委員、玉置委員、森本委員
本館・ヨットハウス指定管理者：ナンブフードサービ(株) 梁村代表取締役
大阪府立青少年海洋センター 田中副所長
大阪府立青少年海洋センター 武村マネージャー
- 4 議事内容 (◇：委員 →：指定管理者 ⇒：事務局)

(1) 本館及びヨットハウス指定管理者による令和5年度施設運營業務に係る自己評価の報告

- ◇ 熱中症の予防対策としてミストシャワーや艇庫の開放等に取り組まれ、新型コロナウイルス感染症については感染症法上の5類に引き下げられたことに伴い感染予防の取組みを変更されたとのことだが、今年度は、トラブルやクラスターの発生といった事案は無かったか。
 - 熱中症については、例年に比べ体調不良者は増えたが、団体責任者と調整して部屋を準備するなど十分注意しながら前向きに対応した。新型コロナウイルス感染症については、学校も対応を気にされているが、当センターとしては、マスクは学校や個人の判断に任せるようにした。クラスターは発生していない。
- ◇ 事業収支計画及び実績状況について、今年度の収入の増加は、助成金のほかは自主事業の増加によるものか。
 - お見込みのとおり。
- ◇ 利用料金収入は計画未達だが、自主事業収入が計画達成できた要因は。
 - 新型コロナウイルス感染症が5類に引下げられて以降、自主事業に多くの参加申込があり、夏以降は募集を増やしたことによる。
- ◇ 定員は少なめに考えていたのか。
 - 昨年度と同じ定員で募集したが、増やせる事業は増やして実施した。
- ◇ SNSについて、インスタグラム主体の取組みとあるが、フェイスブックは停止しているのか。
 - 停止はしていないが、あまり活用していない。
- ◇ SNSはどのような体制で運営しているのか。投稿内容の方針は。
 - 投稿は各事業の担当者が1日1回以上投稿している。文面や写真は投稿前に上司が確認している。投稿内容は保護者への事業報告に特に活用している。大学生ボランティアリーダーの部分についても、リーダーが研修等あった際に、上司の確認を経た上で投稿している。
- ◇ 投稿は組織的に対応しているものと理解した。子どもの写真が多いが、本人には了解を得ているという理解でよいか。
 - 参加申込の際にあらかじめ了解を得ている。SNSへの掲載を拒否する場合は、連絡をいただき掲載しないように対応している。

◇ インスタグラムは写真主体になると思うので、文面での説明をどのように補っていくかが重要だと感じた。また検討していただきたい。

→ (本館及びヨットハウス指定管理者退室)

(2) 施設所管課による令和5年度施設運營業務に係る評価結果の報告

⇒ (事務局から施設所管課の評価結果を報告)

◇ 評価結果については異議なし。

◇ SNSについて、フェイスブックとインスタグラムのリンクはできるのではないかと。ターゲットを誰にしているか、見る人は興味があれば文字を読むが、興味がなければ文字は読まず、写真を見るだけというのが最近の若い人の傾向。

◇ ターゲット層や利用状況を考えるとフェイスブックを控えるのはよいかと思う。インスタグラムは画像中心の発信になるので、文章で詳細に論理的に訴えるのであれば、インスタグラム以外の広報もしていく必要があるかと思う。様々な広報メディアに取り組みされている点は高く評価している。

◇ 利用者数は計画未達でも、収支はほぼ均衡しており、指定管理者が経費削減等に努められた結果かと思う。やはり今後は、利用者数を増やしていくことが課題と考える。

◇ 利用者を増やすには閑散期の利用者を増やすことが大事だと思っている。夏場は団体利用が多く、個人利用も増やしていきたいということだが、岬町のふるさと納税返礼品として登録されているカヤック体験の他にも、石ころアート等のプログラムも登録されてはどうかと思う。

◇ コロナ禍の影響が緩和され、利用者数が回復してきているが、多様なアウトドア体験がある中で、ソフト面だけでなくハード面での整備が安全上大事になる。府と連携しながら、更なる安全確保とプログラムの提供で、利用者数も増えるか考える。

(3) 施設所管課による3年間の総括の報告

⇒ (事務局から施設所管課の評価結果を報告)

◇ 広報の取組みのSNSに関する「しかし、新規顧客の開拓にはつながっておらず、」という部分について、指定管理者の課題だと思うが、SNSを含むソーシャルメディアは認知には向いておらず、比較検討等の知識を持っている場合には有用と言われている。最近はSNS上でバズって認知されるというのはあるが、インフルエンサーを活用するなどしないと新規顧客への訴求は難しく、それを求めるのはハードルが高いかと思う。「しかし、広報全体の取組みとしては、」という一言が入っていれば違和感はないが、それがなければSNSの目的が新規顧客の開拓だと受け取られかねないので気になった。広報全体の取組みとしては、新規顧客の開拓に繋がらなかったという形で整理いただければ幸い。事務局で再検討してほしい。

⇒ (令和5年度評価票とともに該当部分を修正)

◇ コロナ禍で様々な制約ある中での施設運営だったと思うが、黒字を確保され、一定評価できる結果になったと考える。

- ◇ コロナ禍の影響で事業を実施したくてもなかなかできない期間だったかと思うが、その中でも工夫し、取り組まれていた。地元岬町においてもいくつかのイベント等が開催できなかったが、影響が緩和され、これからは色々とできるようになるので、今後も町と協力していただきたい。
- ◇ コロナ禍等、指定管理者の努力だけではどうしようもできないところもあったと思うが、これまでの経験もあり、ここまで運営いただいた。今後は、施設の老朽化に伴いソフトとハード両方の整備が必要だと思う。3年間の評価については異論ないが、引き続き府と連携して施設運営に努めていただきたい。

(4) 大阪府立青少年海洋センターファミリー棟の指定管理者の指定取消しについての報告

⇒ (事務局から施設所管課の評価結果を報告)

- ◇ 利用者、指定管理者、岬町、府、皆にとって残念な結果になったと思う。再稼働に当たっては、この事態は予測できなかったのか。

⇒ 長期間の休館から再稼働に向けて準備を進めてきた中で、通電後の館内設備の動作確認を行った結果、膨大な数の不具合が判明したものの。

以上